

平成28年度青少年赤十字教育研究会

「支えるのは、生きる力と人間の尊厳」



1970年代初頭に埋められた対人地雷を踏み、
足を失ったモザンビークの男性
©Getty Images/ICRC

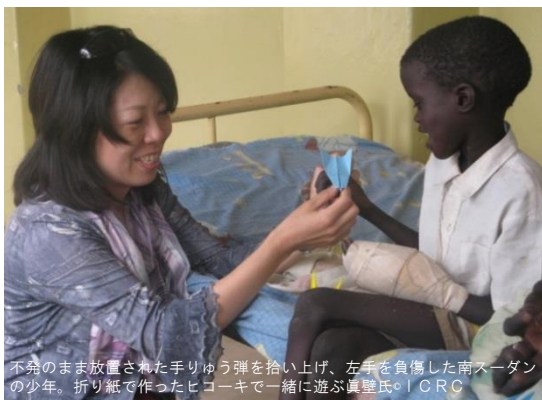
今年度の研究会では、世界各地の国際人道支援に関わってきた赤十字国際委員会駐日事務所から講師を招き、戦後に残された対人地雷やクラスター弾によって平穏な日常を奪われた人々に焦点を当て、生活再建や社会復帰だけでなく、生きる希望や人間の尊厳を取り戻すために赤十字が行っている支援についてご講演いただきます。さらに、難民やテロの問題など複雑化した国際情勢に対し、人道的な観点から国際理解を深める機会とします。

日時：平成29年2月12日（日）13時開演（15時終了）

会場：日本赤十字社神奈川県支部 横浜市中区山下町70-7

入場無料

講師紹介



不発のまま放置された手りゅう弾を拾い上げ、左手を負傷した南スーダンの少年。折り紙で作ったヒコキキで一緒に遊ぶ眞壁氏。ICRC

赤十字国際委員会駐日事務所
広報統括官 眞壁 仁美 氏

新聞記者、報道ディレクター等を経て、2009年2月に赤十字国際委員会（ICRC）駐日事務所の開設とともに広報担当官に就任。ICRCの広報として、世界の人道危機や戦いの現場で働く赤十字の姿を伝える。2012-13年には南スーダンでフィールド要員として生計の自立支援事業や家族との連絡回復・再会事業にも携わる。2013年1月より現職。山梨県韮崎市出身

申込・問い合わせ：日本赤十字社神奈川県支部 青少年・ボランティア課
電話：045-681-2193 メール：kanagawa-rc-volunteer@kanagawa.jrc.or.jp
詳細は→ホームページ：http://kanagawa.jrc.or.jp/

